

証券コード：7226

極東開発工業株式会社

 KYOKUTO



GOOD DESIGN
AWARD 2018



IR REPORT

第84期
中間決算のご報告

2018年4月1日～2018年9月30日



トップメッセージ

株主の皆様におかれましては、ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

2018年4月1日から2018年9月30日までの当社第84期第2四半期の営業の概況についてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、所得及び雇用の改善などから、景気は緩やかな回復基調が続きました。しかし一方で、相次ぐ自然災害や海外の貿易摩擦、原油価格の上昇などの懸念材料も抱えつつ推移しました。

このような状況下、当社グループは中期経営計画 2016-18 ～Value up to the Next～（2016年4月1日～2019年3月31日）の最終年度として、企業品質の向上を図り事業の拡大を目指すべく、引き続き各種施策を実行しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は前年同期と比較して、売上高は855百万円（1.6%）減少して52,802百万円となりました。営業利益はコストアップ等により1,274百万円（26.6%）減少して3,511百万円、経常利益は1,208百万円（24.2%）減少して3,786百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は936百万円（26.6%）減少して2,578百万円となりました。

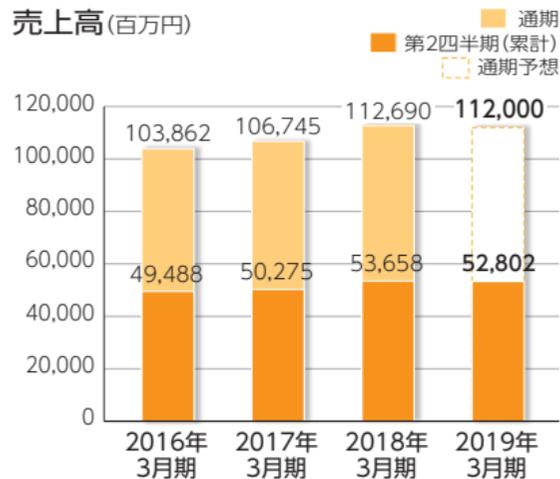
また、2018年度期末配当金につきましては、前年同期実績の1株当たり18円から1円増配の19円とする予定です。これにより、年間配当金は前年度実績の1株当たり36円から2円増配の38円となる予定です。

株主の皆様におかれましては、今後とも引き続き変わらぬご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

2018年12月 取締役社長 高橋和也

■ 業績ハイライト

売上高(百万円)



経常利益(百万円)



親会社株主に帰属する
四半期(当期)純利益(百万円)



鉄道車両及び特装車の設計・製造に共通する“ものづくり”に関するシナジーを創出

北陸重機工業株式会社の全株式を取得しグループ化

当社は、北陸重機工業株式会社の全株式を2018年5月25日付で取得しグループ化（完全子会社化）いたしました。

北陸重機工業は、製鉄所など構内や臨海鉄道等で牽引用に使用されるディーゼル機関車、鉄道各社で保線作業用に使用される軌道モーターカー等の鉄道車両、ならびに、橋梁やトンネルの維持管理に使用される橋梁点検車・水噴霧測定車等の特装車の製造を行っている会社で、1965年に設立されて以来50年以上の豊富な実績、お客様の多様なニーズに応

える製品ラインナップ・技術力を有しております。

鉄道関連市場は、アジア・アフリカ等の発展途上国の都市部における急速な人口増・渋滞問題、日本政府のインフラシステム輸出戦略の推進等を背景に、パッケージ型のプロジェクト案件を中心に大幅な需要拡大が見込まれており、北陸重機工業においても、その豊富な国外納入実績を強みに、海外向けの受注・引合いが急増しております。

概要

商号	北陸重機工業株式会社
本店所在地	新潟市東区山木戸七丁目3番69号
代表者	代表取締役 霜鳥 雅徳
事業内容	鉄道車両、特装車、荷役産業機械、 設備省力機械の設計・製作・販売
設立	1965年11月
取得日	2018年5月25日



ディーゼル機関車



橋梁点検車

耐摩耗鋼板「HARDOX[®]」の採用で軽量化と高強度を実現！

4t耐摩耗鋼板仕様リヤダンプトラックが2018年度グッドデザイン賞を受賞

耐摩耗鋼板「HARDOX」を採用した「4t耐摩耗鋼板仕様リヤダンプトラック」が、「2018年度グッドデザイン賞」を受賞いたしました。

2018年2月より発売している「4t耐摩耗鋼板仕様リヤダンプトラック」は、ダンプトラックに求められている輸送効率のアップ及び車両重量増への対応、またアフターメンテナンスの容易性といった「積載量（軽量化）と耐久性の確保」という相反するニーズに対し、中型ダンプトラックのシェアトップメーカーとして“剛から柔へ”の全く新しい設計思想とデザインコンセプトによって応えた車両です。

今回、当車の「すっきりとした外観がダンプトラックの印象をソフトで現代的なものに変えており、機能面での優位性や耐久性の向上も含め、本来社会的な存在であるダンプトラックに対して、社会との親和性を向上させる提案となっている」点などが高く評価されたことにより、本受賞に至りました。

（※「HARDOX」はSSAB社の登録商標です。）



 GOOD DESIGN
AWARD 2018

4t耐摩耗鋼板仕様リヤダンプトラック

国内規制最大容量のタンク容積30kLと、ワイドシングルタイヤ仕様でアルミタンクトレーラ国内トップクラスの最大積載量24,500kgを確保!

新型「30kL アルミタンクトレーラ」を発売

国内規制最大容量となるタンク容積30kLを実現した新型「30kL アルミタンクトレーラ」を開発し、2018年11月5日より発売いたしました。

新機種は、タンクローリのトップメーカーとして大容量長距離輸送のニーズに対応した30kL積タンクを搭載し、ワイドシングルタイヤ仕様 (KL30-471SS) ではアルミタンクトレーラで国内トップクラスとなる最大積載量24,500kgを確保しました。また、角形断面タンクの採用で低全高・低重心と連結全長を短縮を実現し、走行安定性を確保するとともに、ディスクブレーキの採用による安全性の向上も図っています。

さらに高効率かつ快適な輸送を叶える、新しいアルミタンクトレーラです。

(※本機種は、第五輪荷重11.5tのトラクタに対応しています。また、ワイドシングルタイヤ仕様 (KL30-471SS) のタイヤサイズは455/55R22.5となります。)

特徴

1. 国内規制最大容量のタンク容積30kL
2. ワイドシングルタイヤ仕様で国内トップクラスの最大積載量24,500kgを確保
3. 角形断面タンクの採用で低全高・低重心と連結全長を短縮
4. ディスクブレーキ搭載で安全性が向上



30kL アルミタンクトレーラ

ダンプとスライドの2つの機構を併せ持ち、
土砂と建機の運搬に2WAYで活躍！

新型「スライドダンプ」を発売

ダンプ機構とスライド機構の2つを併せ持ち、1台で2WAYの使用が可能な「スライドダンプ」を開発し、2018年6月に発売いたしました。

新機種は、従来の土砂運搬・排出を行うことができるダンプ機構に加え、小型建機等の積込・運搬を可能とするスライド機構を装備しています。

2つの機能のコンビネーションにより、さらに安全かつ効率的な現場作業を実現する、高い機動力を備えた新しいダンプトラックです。



ダンプ時



スライド時

特徴

1. ダンプとスライドの2つの機構のコンビネーション

従来の土砂運搬・排出が可能なダンプ機構に加え、スライド機構を搭載しました。小型建機等の安全かつ確実な積込・運搬を行うことができ、現場での効率的な作業に貢献します。

2. ワイヤレスリモコンを標準装備

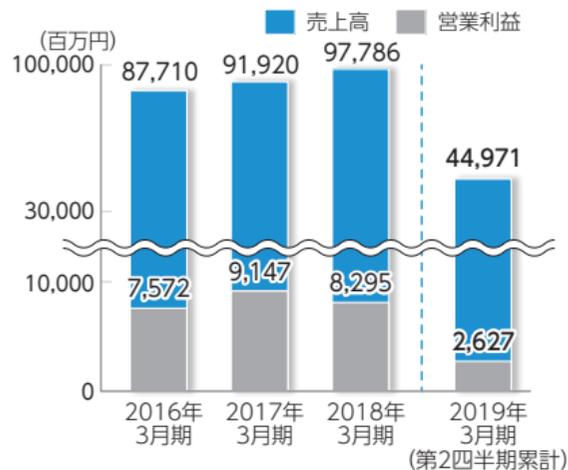
ボデーのスライド操作は標準装備のワイヤレスリモコンで行うことが可能で、高い操作性と安全性を確保しています。

3. スライド連動リヤジャッキを搭載

ボデーのスライド操作に連動して作動するリヤジャッキを搭載し、より効率的な作業を行えます。

■ セグメント別概況

【 特装車事業 】



アルミタンク給水車

国内需要が落ち着きを見せる中、新規受注の確保に努めるとともに、効率的な生産体制の整備と品質の向上に努めました。

5月には2t車級プレス式ごみ収集車「プレスパック®」をフルモデルチェンジし、6月にはダンプトラックの新機種として、小型建機等の運搬を可能とした「スライドダンプ」を発売しました。また、2月に発売した「4t 耐摩耗鋼板仕様リヤダンプトラック」が「2018年度グッドデザイン賞」を受賞するなど、積極的なPRを行いました。

しかしながら、売上高は2,552百万円（5.4%）減少して44,971百万円となりました。営業利益は1,573百万円（37.5%）減少して2,627百万円となりました。

なお、5月にグループ化（完全子会社化）した北陸重機工業（新潟市）で製造するディーゼル機関車・軌道モーターカー等の鉄道車両についても、本事業においてシナジーを創出すべく、当社グループ一丸となり協力体制を構築してまいります。

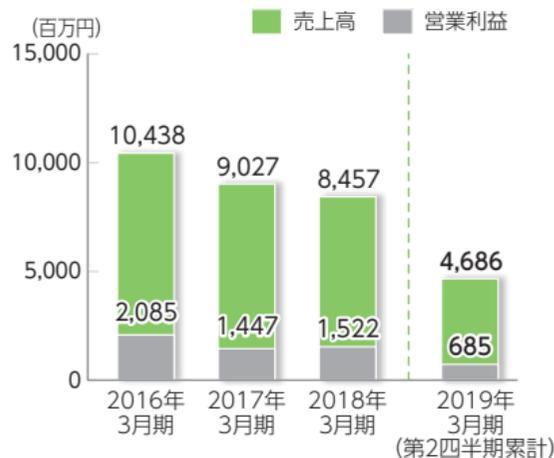
■ 国内普通トラック登録台数の推移



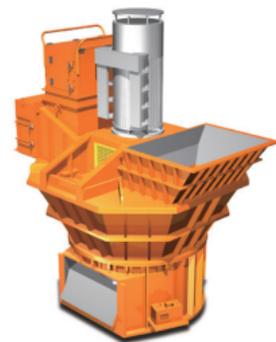
ピストンクリーン® PY165-39

■ セグメント別概況

[環境事業]



リサイクルプラザ (八尾市)



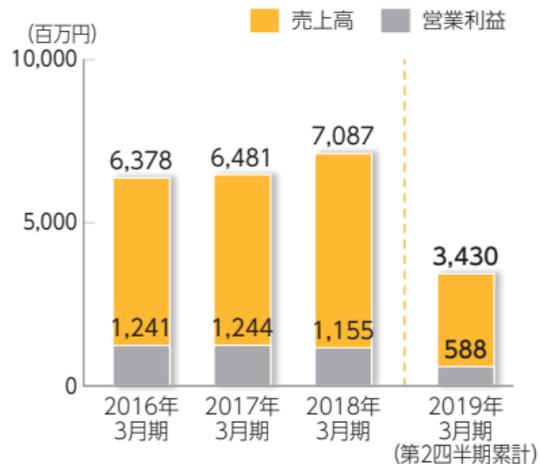
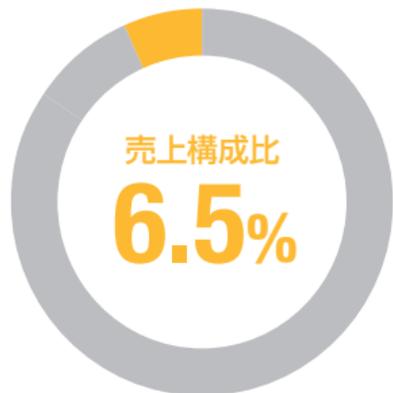
破碎機 (極東・トレマッシュ®)

プラント建設では引き続き受注済物件の建設工事を進めたほか、ストックビジネスであるメンテナンス・運転受託についても注力しました。

また、バイオガスプラント事業においても新たな受注を目指し活動しました。

これらの結果、売上高は1,687百万円 (56.3%) 増加して4,686百万円となりました。営業利益は360百万円 (110.8%) 増加して685百万円となりました。

〔不動産賃貸等事業〕



コインパーキング (P.ZONE®)

立体駐車装置は新規物件の受注活動と併せ、リニューアル・メンテナンスのストックビジネスにも継続して注力しました。コインパーキングは各事業地において採算性を重視した事業展開を行いました。

海外では、インドネシアで受注した立体駐車装置2号機の完成に向けた建設工事を進めました。

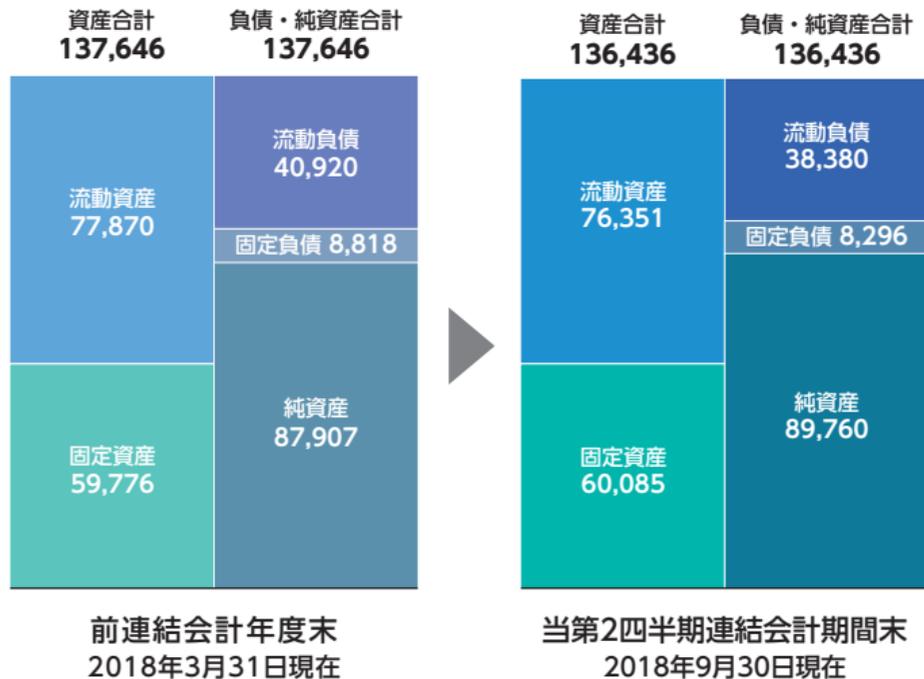
しかしながら、売上高は37百万円 (1.1%) 減少して3,430百万円となりました。営業利益は37百万円 (6.0%) 減少して588百万円となりました。



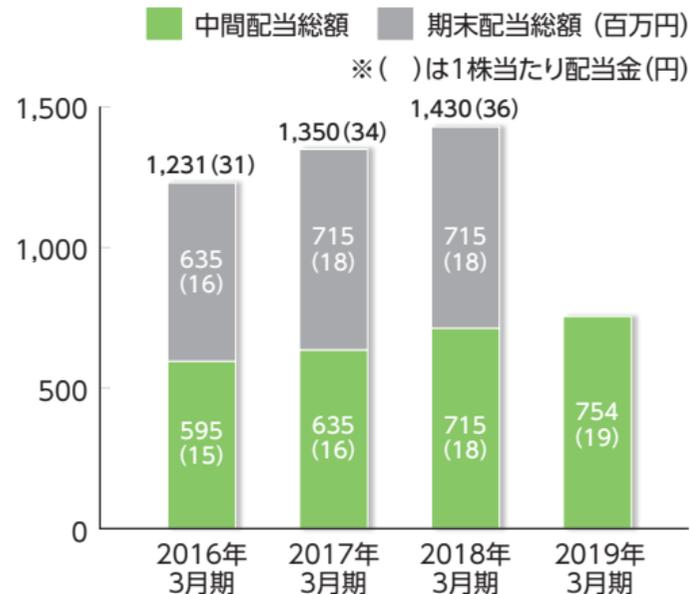
複合パズル式立体駐車装置 (屋内)

■ 連結財務データ (日本基準)

四半期連結貸借対照表の概要 (百万円)

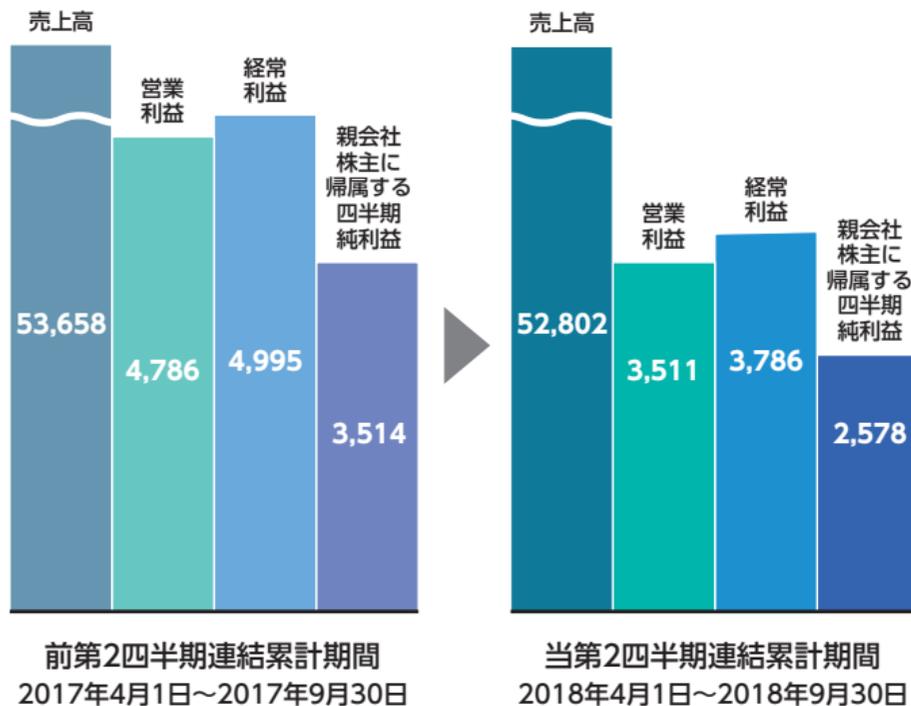


配当総額の推移

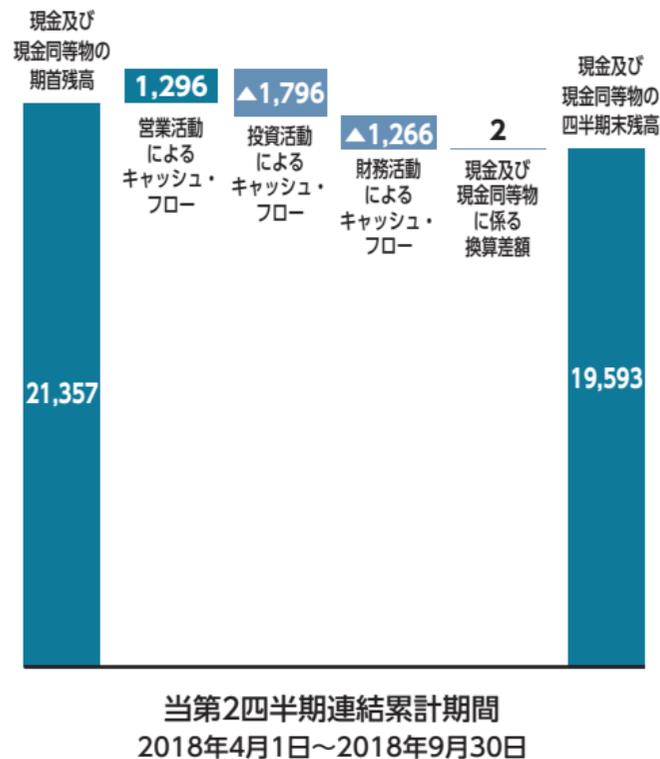


(注) 第84期より「税効果会計に係る会計基準」の一部改正(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)を適用しており、第83期については遡及処理後の値を記載しております。

四半期連結損益計算書の概要 (百万円)



四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (百万円)



■ 株式データ (2018年9月30日現在)

[株式の状況]

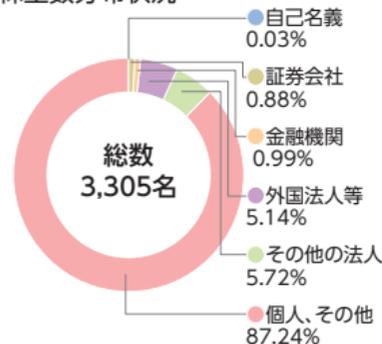
発行可能株式総数 170,950,672株
 発行済株式総数 42,737,668株
 株主数 3,305名
 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,978	4.98
株式会社三井住友銀行	1,600	4.03
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(三井住友信託銀行再信託分・株式会社みなと銀行退職給付信託口)	1,498	3.77
極東開発共栄会	1,252	3.15
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,057	2.66
三菱UFJ信託銀行株式会社	1,012	2.55
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	910	2.29
GOVERNMENT OF NORWAY	823	2.07
宮原 幾男	817	2.05
株式会社奥村組	761	1.91

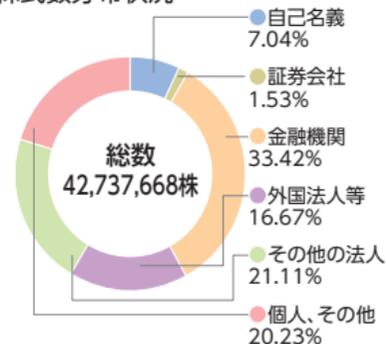
(注) 持株比率は、当社が保有する自己株式(3,010千株)を控除して計算しております。

[株式分布状況]

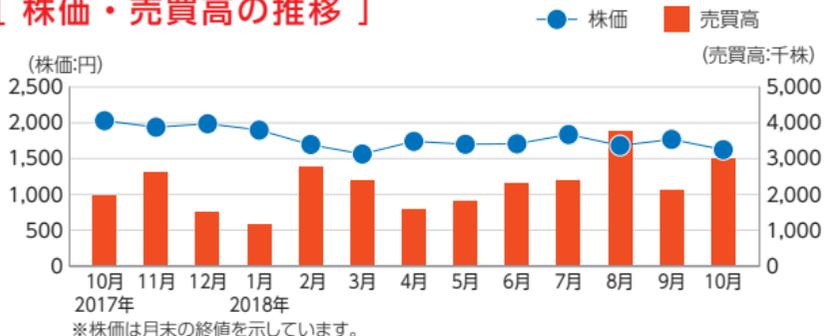
株主数分布状況



株式数分布状況



[株価・売買高の推移]



[株主メモ]

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
配当金受領株主確定日	期末 3月31日 中間 9月30日
公告方法	電子公告 当社ホームページにて掲載 (http://www.kyokuto.com/)
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
上場取引所	東京証券取引所市場第一部

Kyokuto Kaihatsu Kogyo Co., Ltd.

<ご注意>

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

この冊子に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

〒663-8545 兵庫県西宮市甲子園口6丁目1番45号

極東開発工業株式会社 総務部

TEL:0798-66-1000

URL:<http://www.kyokuto.com/>

MAIL:soumu@kyokuto.com

社名・商品名・ロゴ等は各社の商標または登録商標です。

